

建築学科

建築一般構造 1

対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2	
担当教員	長島茂			実務経験	有	職種	建設会社にて施工管理業務に従事					

授業概要

建築構造の種類、構造材の種類および木造建築の構造を中心に学びます。

到達目標

次の4点を到達目標とする（期末試験90点以上）。①木構造の特徴と構造形式を理解する。②木材の性質と特徴を理解する。③軸組構法の構成を理解する。④枠組壁構法の構成と特徴を理解する。

授業方法

実務との関連を意識しながら、建築材料や建築生産などの専門科目とも関連付けて授業を進め、理解度を深める。講義では、各部材が建築物の中でどこに使われていて、どのような役割があり、そのために、どのような工夫がされているのかを意識しながら聞いてほしい。またテストは、建築士試験の過去問題を参考に作成している。

成績評価方法

授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。

履修上の注意

受身ではなく、主体的に取り組むこと。ノートは丁寧に書く必要はなくメモで構わない。予習・復習を怠らないこと。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

初めての建築一般構造改訂版学芸出版社

回数	授業計画
第1回	建築構法の変遷
第2回	建築構造の分類、建築上の留意点
第3回	木構造の特徴、構造形式

第4回	木材、木質材料の種類と特徴について
第5回	軸組構法の構成、木材の接合について
第6回	基礎の構造、土工事について
第7回	壁、柱などの垂直部材の構造について
第8回	筋かい、胴差し、火打ちなど斜材、水平材について
第9回	小屋組の種類、特徴、構造について
第10回	束の有無による床構造について
第11回	地震力、風圧力に対する必要壁量の検討
第12回	枠組壁構法の構成と特徴について
第13回	枠組壁構法で使用する木材の規格、接合について
第14回	枠組壁構法の壁量の検討
第15回	構造用大断面集成材を用いた構造